

## インテック、情報システム部門の属人化やサイロ化を解消する 「共創型システム運用サービス」を提供開始 ～30種類以上の標準運用メニューと伴走支援で、最短1ヶ月で導入可能～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：疋田秀三、以下：インテック）は、企業の情報システム部門向けに、ITシステム運用のための30種類以上の標準運用メニューとエンジニアの伴走支援コンサルティング、運用プラットフォームによる情報一元管理を組み合わせた「共創型システム運用サービス」を、2026年3月27日から提供開始することを発表します。

「共創型システム運用サービス」は、情報システム部門に多く見られる属人化、組織・システムごとに情報が分断されるサイロ化、非効率な定型業務の繰り返しによる運用負荷の増大という構造的課題を解消し、安定した成果を生み出すITシステム運用を実現します。

30種類以上の豊富なサービスメニューを完備しており、実績ある標準プロセスにより最短1ヶ月で導入が可能です。

### <「共創型システム運用サービス」のイメージ>

運用プラットフォームを基盤に、標準運用と高度運用を組み合わせ、属人化・サイロ化・運用負荷の増大を解消します



### ■背景

企業のDX推進やクラウドシフトが進む中、情報システム部門はより一層高度かつ戦略的な役割が求められています。一方で、日々の障害対応や定型業務に追われて改善・企画に十分に取り組めない、運用コストの不透明さから経営層への説明に苦慮するなど、運用体制に課題を抱える企業も少なくありません。

こうした課題を踏まえ、インテックは運用作業の代行にとどまらず、運用現場とともに課題を捉え、継続的に改善を進める「共創型」の運用が必要だと考えました。そこで、30種類以上から選べる標準運用メニューとエンジニアの伴走型コンサルティング、情報を一元管理できる運用プ

ラットフォームを組み合わせた「共創型システム運用サービス」を開発しました。

## ■「共創型システム運用サービス」の概要

### 1. 30種類以上から選べる標準運用メニュー

インテックの30年以上にわたる運用実績にもとづき体系化した30種類以上のシステム運用のサービスメニューの中から、企業の環境や要件に応じて必要なものを選定して提供。

実績ある標準プロセスにより最短で1ヶ月という短期間で導入可能であり、属人性を排した安定運用と明確な料金体系を実現することで、改善・企画業務に集中できる環境を提供。

#### <主なメニュー>

IT サービスマネジメント	サービス要求受付、インシデント管理、問題管理、変更管理、構成管理、サービスポータル 等
IT システムマネジメント	監視・検知、障害対応（一次・二次）、バックアップ運用、ジョブ管理、セキュリティ運用 等
プロアクティブ	運用報告会、運用報告資料（定期レポート）
ガバナンス	監査対応支援、資産管理支援

※標準運用サービスには、運用プラットフォームの提供を含む。

### 2. 運用エンジニアによる伴走型コンサルティング

豊富なシステム運用実績を持つインテックのエンジニアが、システム運用のアセスメントから継続的な改善まで伴走支援。

現行運用のボトルネックや運用成熟度を可視化し、品質・コスト・納期の最適化を図るとともに、監視品質の診断による誤検知削減や重要アラートの見逃し防止、定期的なミーティングを通じた課題抽出から改善までを継続的に支援。

### 3. 情報を一元管理できる運用プラットフォーム

アトラシアン株式会社が提供する ITSM ソリューション「Jira Service Management」を基盤とした運用プラットフォームを活用することでシステム運用の情報を一元管理。

対応状況や進捗をリアルタイムで可視化でき、対応履歴や判断経緯、手順書を集約。AI による過去ナレッジの横断的な検索・活用が可能。

#### <提供価格>

初期費用 60 万円～

月次費用 20 万円～

※利用するメニューやシステム規模によって変動

「共創型システム運用サービス」の詳細は以下 URL をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/system-operation/>

## ■今後の展開

インテックは、今後も「共創型システム運用サービス」の機能強化・拡充を段階的に進め、まずは2026年度中に、生成AIを活用した高度運用オプションのラインアップを拡充する予定です。

その後も AI Ops による運用の自立化を推進し、企業の DX 推進とシステム運用高度化を支援していきます。

## ■オンラインセミナー開催

「共創型システム運用サービス」を紹介する無料オンラインセミナーを開催します。

「属人化をどう解消する？～持続可能な IT 運用の実現方法をご紹介～」

1. 開催日時：2026年4月23日(木) 15:00～15:30(予定)
2. 場所：オンライン Web セミナー (Zoom)
3. 参加費：無料
4. 詳細・お申し込み：<https://www.intec.co.jp/event/event1917.html>

### 株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客さまの経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客さまに新しい価値を提供していきます。

### TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ 2 万人を超える社員が『IT で、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市への集中・地方の衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けて IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

#### ◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報部 小川、稲垣  
E-Mail : [press@intec.co.jp](mailto:press@intec.co.jp)

#### ◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック ICTプラットフォームサービス事業本部  
アドバンスト運用サービス部 飛田  
E-Mail : [kyoso-support@intec.co.jp](mailto:kyoso-support@intec.co.jp)